

2021 年度 秋の大運動—学童保育関係の活動まとめ

2022 年 2 月 22 日（火）

1. 大阪学保協、この秋のテーマ

「子ども・子育て、そして地域・社会をつなげる—保育・学童・子育て支援の拡充を」

- ・ コロナ禍によりいっそう明確化された学童保育の社会的役割を前面に
- ・ 子どもの声を聴こう！子どもたちが主体者として育ちあう地域・学童保育を！
- ・ 働き子育てする保護者にとって不可欠な学童保育を地域のすみずみに！
- ・ 「5 つの提言」の具体的実践としての秋の大運動に
- ・ 指導員の「仕事の見える化」と「常勤・複数配置」を社会的合意へ

2. 私たちの課題—活動・成果

1) 秋の大運動の成功に向けて : 保育・学童保育がともに

- ① 国会への全国請願署名
- ② 大阪府議会への請願書名
- ③ 43 自治体キャラバンでの懇談の充実

〈とりくみ具体化への意見〉

- ・ 署名を集める方が安心して説明できるような準備をしたい。
- ・ 「要求」や「運動」など、使いなれない・耳慣れない人が増えている。
自分たちのねがいが反映される活動なんやな、とわかってもらえるような言葉、対話
- ・ 不満の共有を大事に。不満が望みになり要求になって発展をつくっていく
- ・ 去年はコロナの中での署名活動に危惧がされたが、賛同や応援の声が多かった



- ・ わかりやすいチラシ Let' s 署名 1 ～ 3 秋の大運動—学童保育チラシ
- ・ とりくみ方の交流：署名の提案、配布、集め方—運営委員会にて、HP への掲載

2) 議会対策

- ① 府議会請願に基づく全ての会派・議員との懇談
- ② 大阪選出の国会議員との懇談



- ・ 一人ひとりの声（子ども・保護者・指導員）抜粋をもって
- ・ 懇談の実現をめざして：保育とともに、全会派へ

3) 自治体に向けての要請（要求・要望）運動 : 学童保育の独自

- ① 大阪府への要望書提出（7 月 20 日）、対府懇談（応接）（8 月 11 日） …をもとに
感染対策、指導員の資格者確保・資質向上、全市町村での情報共有・交流での全域向上、等



- ・ スマホ検査センターの学童保育児童への適用（11 月 14 日）
- ・ 認定資格研修募集をやっていることの府 HP への周知（実施は市町村）
- ・ 資質向上研修のオンライン開催（2 月～3 月、4 回） : 大阪学保協受託

- ・約 10 年ぶり、市町村担当課を集めての府の説明会議 : 1 月初旬

② 府内各市町村への要望 …市町村連協の要望書等を共有しながら

- ・コロナ禍のもとでも子どもが安心安全に豊かに生活できる学童づくり
- ・指導員の確保・継続、学年延長・時間延長、運営に関する公的責任・民間委託問題、など
- ・市町村担当課との関係づくり、ともに発展をめざす

3. この秋、具体的取り組み

1) 全国連協とともに～全国学童拡充アクション

- ① 1 人 1 人の声を届ける運動
- ② 国会請願署名

2) 声を束ね、届けよう

- ① 子どもの声を集めよう
コロナになってイヤなこと／コロナになったけどよかったこと／コロナがなくなったら…
まとめ・分析中
- ② 施設改善の要望…トイレ・水回り
トレイが少ない、洋式が少ない、遠い→ガマン、行きたくない、もれる：子どもの人権問題
国の補助対象の問題、学校・学童保育の施設関連の管理責任・予算の問題

3) 保育・学童保育とともに

- ① 署名：国会請願、府議会請願、(市町村への署名) + 全国学保連署名 : 三連署名の提起
- ② スタート集会 9 月 19 日 (日) 10:00～12:00
- ③ 保育・学童合同一拡大実行委員会等、情報共有しながら

4) 自治体キャラバン

- ① コロナ禍で、学童保育の役割：子ども、保護者を支える地域の児童福祉
- ② 指導員の常勤化の必要性：見える化資料をもとに
- ③ 指導員不足への対策

5) 指導員の常勤化、処遇改善にむけて

- ① 指導員の仕事の見える化
- ② 臨時特例事業を活用した処遇改善

6) 学習活動

- ① 学習チラシ、資料づくり
- ② ミニ学習会の企画 (運営委員会)：障害児の受入体制、ほか